

※ WSTS (設立1986年)は、世界の半導体メーカーが自主的に加盟 (現在49社) している半導体市場に関する世界的統計機関。加盟会社の半導体販売額・販売数量の実績値を製品別・地域別に同一分類基準で毎月集計し、これを基に作成した統計を発行している。

WSTS半導体市場統計は、世界の半導体市場を同一基準で分類、集計した統計として世界唯一。

予測会議は年2回、原則5月と11月に開催。

WSTSの「半導体市場」とは、半導体メーカーの国籍や生産工場の場所には関係なく、「半導体製品が半導体メーカーから第三者に販売された地域」。

「第三者」は半導体ユーザの電子機器メーカー、EMS、半導体を扱う商社などが含まれる。

(おわり)

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



11月のアルミ概況及び12月の見通し (4)

予想レンジ

LME現物後場買い 2,400~2,700ドル ●
スクラップ 据え置き~+10円 ●
為替 150円~160円 円安
(1か月間TTM)

■見通し

◆自動車

10月の自動車生産が0.3%の減少。11月国内販売台数が前年比3.3%の減少。販売が再び減少。生産は2か月連続の減少。

新規材料難の中、ここ数か月は増減を繰り返し、この水準に落ち着く。

◆アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は、前年比1.1%減の14万9,884 t。3か月連続のマイナス。

板は、生産がマイナス、出荷はプラス。「自動車」は減少したものの、それ以外の主要な分野がプラスとなり、出荷全体では増となった。

押出は、生産・出荷ともにマイナス。最大用途の「建設」向けで低下が続いている。

板類 9万2,333 t -1.8% マイナスに反転
押出類 5万7,511 t -0.4% 3か月連続のマイナス

◆アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績

前年比10.9%減 6万660 t 3か月連続のマイナス
出荷 9.2%減 6万1920 t 3か月連続のマイナス

■スクラップ景況予想

流通 (一次問屋) 在庫は、LME 価格が2,549ドルから2,590ドル台とレンジ内だったことから出荷

し在庫薄。

需要面に関しては、先月の相場低迷による持ち込み量の減少から在庫薄。

◆LME・為替予想

今月は以下の項目に左右される。

●米の対中政策

60%の対中追加関税はトランプ氏の大統領就任 (2025年1月20日) 後、すぐに実行に移される可能性が高く、GDP世界第2位の中国経済の失速は世界経済に多大な影響を及ぼす。

●米の金融政策

トランプ氏は選挙戦で、FRBの金融政策決定に「大統領が意見すべきだ」と言明しているが、パウエル議長は7日、連邦公開市場委員会 (FOMC) 後の記者会見で、トランプ次期大統領から辞任を求められても応じないと明言、混乱が続くと予想。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は、2,400ドル~2,700ドル (セツル) との予想。

ドル円値は150円~160円 (TTM) 台を予測。

スクラップ購買価格に関しては、据え置きから10円程度増と予想している。

(「11月のアルミ概況及び12月の見通し」おわり)

Copper “セツツ” は ALLOY の専門商社。

専門商社だから出来る豊富な品揃えと的確な在庫管理は、進化を続ける日本産業にもスピーディーに対応します。

海、陸、空。そして未来へ…。

「セツツ」は特にアルミニウム青銅合金 (アームスブロンズ) を重点にその優れた特性で様々な業界、あらゆる分野の発展に寄与。舞台は宇宙へ、深海へ。「セツツ」は未来の要を支えます。

連続鋳造銅合金、ダイカスト製品ほか少ロット製品も迅速対応
在庫常時 600t・CopperALLOY のことなら

SSM 摂津特殊金属株式会社

〒534-0011 大阪市都島区高倉町3-1-19

TEL 06(6926)3751 FAX 06(6926)5557

第二倉庫 大阪市都島区内代町4-6-22

第三倉庫 大阪市都島区内代町4-6-4

www.setsutokusyu.co.jp